

## 会 議 記 録

高松市附属機関等の設置、運営に関する要綱の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

|               |   |
|---------------|---|
| 会議名           | 平成30年度 玉藻公園管理委員会  |
| 開催日時          | 平成31年3月26日(火) 午後2時～3時   |
| 開催場所          | 玉藻公園 披雲閣 大書院  |
| 議 題<br>(報告事項) | 1 平成30年度事業について<br>2 平成31年度事業計画について<br>3 玉藻公園入園状況及び披雲閣利用料実績について<br>4 平成31年度高松城跡整備事業について            |
| 公開の区分         | <input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開 |
| 上記理由          |   |
| 出席委員          | 川西会長、増田委員、中村委員、深田委員、岡委員<br>佐伯副会長、小河委員、森委員、小西委員、藤田委員   |
| 傍 聴 者         | 0人  |
| 担当課及び<br>連絡先  | 文化財課<br>839-2660  |

### 会議の経過及び結果

今回は報告事項のみで、事務局の説明後、委員から下記の意見等があった。

- (委 員) 鉄砲隊の入場者数が横ばいなので、鉄砲隊以外も考えては。  
また、夜間の入園者数についてお伺いしたい。
- (事務局) 他のいろんなイベント等を組み合わせて実施し、相乗効果が得られるような事業となるよう主催者側にも働き掛けていきたい。夜間はイベントをしないと150～200名、イベントがあれば 500～600名、多いときは800～900名である。
- (委 員) 瀬戸内国際芸術祭に合わせたイベントの計画、子どもたちが気軽に入園できる学習イベントを実施してはどうか。
- (事務局) 瀬戸内国際芸術祭が春・夏・秋と開催されるのでそれに関連したイベントが開催されて来た経緯もあり、今後、玉藻公園で行われるイベント等については、PRしていきたい。  
また、陳列館があるので、子どもにも分かりやすい展示になるように工夫していきたい。
- (委 員) 披雲閣を常に入れるようにできないか
- (事務局) 披雲閣は貸館業務を行っており、ボランティア同行で入ることもあるが、料金を支払って借りている方々との格差が生じる問題もあることから、貸館に支障がない範囲で検討していきたい。
- (委 員) 入園者数や入園料、またイベントの入場者数等の目標を設定しては？
- (事務局) この近年の状況でいえば、入園者数20万人を超えれば一つの目標を達成できたとしている。しかし、各イベントの実施主体も様々で目標を設定まではしていなかった。今後は、頂いた御意見を参考に工夫していきたい。
- (委 員) 園内のカラーコーンや柵のバーが気になる
- (事務局) 石垣の積直しや披雲閣屋根の修繕工事を行っており、来園者の安全管理のため設置しているので、御理解をいただきたい。
- (委 員) たばこの喫煙所が気になる
- (事務局) 喫煙禁煙については時代の流れもあり、重要文化財披雲閣を守るという観点でも火の気がない方がいいが、まだ灰皿をすべて無くすには至っていない。  
今年度は、公園の北側・西側で灰皿を撤去しており、削減に努めている。

#### 会議の経過及び結果

- (委 員) 園内の多言語化と披雲閣の水回りを良くすることについて  
(事務局) 海外の来園者も年々増えているが、多言語化については十分には対応できていない。今後、周辺の整備とも合わせて対応できるよう検討したい。  
披雲閣の水回りの件については、重要文化財の木造建造物になっており、新たな水回りとかトイレを作るのは難しい。ただ、西門近くのトイレと桜の馬場のトイレは近年、改修して新しくなっている。
- (委 員) 桜御門の整備見直しについて  
(事務局) 平成31年3月議会において、否決となっている。今後も準備を進めて参りたい。なお、工期は約2年間を見込んでいる。
- (委 員) facebookやインスタ等SNSの検索キーワードは、ブランディング・キャッチフレーズが重要。「高松城」と玉藻公園の両方があることから、統一できるキーワードを提供してほしい。  
(事務局) 海外も視野に入れた分かりやすい言葉を、指定管理者とも協議して考えていく。
- (委 員) 玉藻公園の将来像の在り方について  
(事務局) 基本的な整備の方針は定めているが、史跡の保存活用計画を来年度から作成する予定である。売店の在り方もこの中で考えていく。
- (委 員) にぎわいを創出して楽しみながら歴史も勉強するような形の仕掛けが必要。  
(事務局) 指定管理者とも相談しながら検討する。
- (委 員) 公園の見せ方・誘導の仕方について (中に入らなくても楽しめる公園)  
(事務局) 高松城跡に近いサンポート高松でいろんなイベントを実施しており、連携した取組みについても考えていきたい。